

## 著者プロフィール

笹川 慶子（ささがわ けいこ） 関西大学文学部教授 修士（芸術学）

専門は、映画史。主な編著書に、『明治・大正 大阪映画文化の誕生』（2012年、大阪都市遺産研究センター）、『織田作之助と大阪』『大阪の小説家と映画』（2013年、同）、『大阪に東洋1の映画撮影所があった頃』（同、ブレイクセンター）、『東洋汽船と映画』（2016年、関西大学出版部）、共訳『フィルム・アート——映画芸術入門』（2007年、名古屋大学出版）などがある。

日高 水穂（ひだか みずほ） 関西大学文学部教授 博士（文学）

専門は、方言学・社会言語学。主な編著書に、『秋田のことば』（2000年、無明舎出版）『やさしい日本語のしくみ』（2003年、くろしお出版）『シリーズ方言学2 方言の文法』（2006年、岩波書店）『授与動詞の対照方言学的研究』（2007年、ひつじ書房）『秋田県民は本当に〈ええふりこぎ〉か？』（2011年、無明舎出版）『方言学入門』（2013年、三省堂）などがある。

森 勇太（もり ゆうた） 関西大学文学部准教授 博士（文学）

専門は、日本語文法史・歴史語用論。主な編著書に『発話行為から見た日本語授受表現の歴史的研究』（2016年、ひつじ書房）、『ワークブック日本語の歴史』（2016年、くろしお出版）がある。

増田 周子（ますだ ちかこ） 関西大学文学部教授 博士（文学）

専門は、日本近現代文学。主な編著書に、『宇野浩二文学の書誌的研究』『宇野浩二書簡集』（2000年、和泉書院）『大阪文藝総覧』（2013年、同）『織田作之助と大阪』（2013年、関西大学大阪都市遺産センター）『大阪の小説家と映画』（2013年、同）『戦争の記録と表象——日本・アジア・ヨーロッパ』（2013年、関西大学出版部）などがある。

Michael Cronin（マイケル・クローニン） ウィリアム・アンド・メアリー大学 准教授 博士（日本文学）

専門は、日本近現代文学。著書に、『オオサカ・モダン』Osaka Modern（2017年、Harvard East Asian）、翻訳に谷崎純一郎『台所太平記』The Maids（2017年、New Directions）、学術論文に「織田作之助『わが町』の大阪とフィリピン」City, Empire and Flow（2013年、Japan Forum）などがある。

近代大阪文化の多角的研究  
— 文学・言語・映画・国際事情 —

---

発行日 2017年3月31日

発行者 関西大学 なにわ大阪研究センター  
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35  
TEL: 06-6368-1329  
FAX: 06-6368-0092

印刷所 株式会社 遊文舎

---

ISBN 978-4-946421-55-6 C3070 落丁・乱丁はお取替えいたします。

